

イタリア優勝

仏と死闘PK戦制す

W杯、24年ぶり4度目



PK戦を制し喜ぶイタリア代表＝ロイター

【ベルリン＝本社W杯取材団】サッカーの第十八回ワールドカップ（W杯）ドイツ大会の決勝イタリアーフランスは九日（日本時間十日未明）、イタリアが1―1からのPK戦を5―3で制し、一九八二年スペイン大会以来、6大会ぶり4度目の優勝を飾った。4度優勝はブラジルの5度に次いで単独2位。フランスは2度目の優勝を逃した。

試合は前半、フランスがこの大会を最後に引退するジダンがPKを決めて先制し、イタリアが追いついた。延長でも決着がつかず、PK戦にもつれ込んだ。ジダンが延長後半に暴力行為で退場処分となった。

次回の二〇一〇年大会は南アフリカで行われ、史上初のアフリカ大陸開催となる。

2006年7月10日発行